

カナダ金融政策（2022年12月）

利上げ局面は終了間近

2022年12月8日

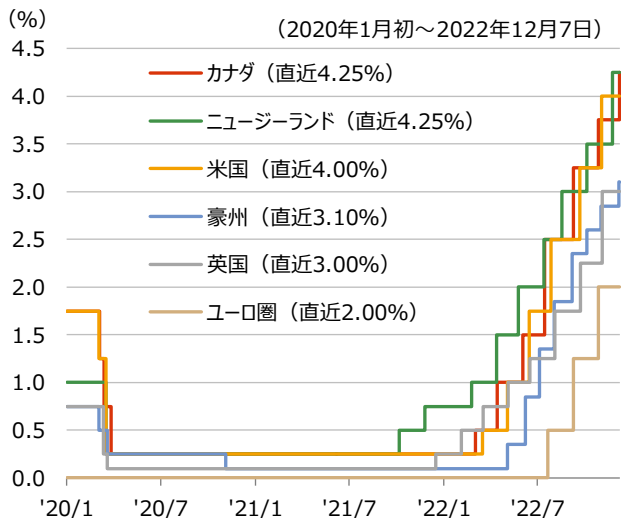
0.5%ポイントの利上げを決定、次回は据え置きも選択肢に

カナダ銀行（中央銀行）は12月7日（現地、以下同様）に金融政策決定会合を開催し、政策金利を3.75%から4.25%に引き上げることを決定しました。市場参加者の予想する利上げ幅は0.5%ポイントと0.25%ポイントで二分されていたため、発表直後の市場は金利上昇やカナダ・ドル高で反応しました。しかし、その後は声明文で利上げ局面の終了が近いことが示唆されていたため値を戻す展開となりました。

声明文では、①7-9月期の実質GDP成長率（前期比年率+2.9%）が想定よりも強かったこと、②労働市場が依然としてひっ迫していること、③消費者物価指数（10月は前年同月比+6.9%）が高すぎるままであり、また短期のインフレ期待が上昇したこと、などを挙げて0.5%ポイントの利上げに至った背景を説明しています。一方、金利に敏感な住宅市場に続いて個人消費も減速していることや、カナダ銀行が重視するコア消費者物価指数の3カ月前比が低下するなど物価上昇は勢いを失う兆候があることを指摘し、これまでの利上げの効果が現れていることや利上げ局面の終わりが近いことも同時に示唆しています。

今後の方針は、前回までの「政策金利を更に引き上げる必要がある」から「政策金利を更に引き上げる必要があるかどうかを検討する」に変化しました。そのため、次回（来年1月25日）の会合においては、政策金利の据え置きと0.25%ポイントの追加利上げが主な選択肢になると考えられます。その判断は今後発表される経済指標に依存しますが、いずれにしても利上げ局面は終了間近だと言えます。

各国・地域の政策金利



※米国はFFレート誘導目標レンジの上限、ユーロ圏は主要リファイナンス金利を使用
(出所) ブルームバーグ

カナダの失業率と消費者物価指数



※消費者物価指数は2022年10月まで

(出所) カナダ統計局

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。